

## 見積参考資料

委託業務名            R1徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

### 注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な業務委託費の見積りのための一資料であり、委託契約を拘束するものではない。

事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型) 大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

項目名	内容
事業主体名	東部農林水産局 (徳島)
事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型)
地区名	大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務
施工場所	鳴門市大津町
業務番号	
業務区分	
積算区分	当初積算
地域区分	徳島県
地区区分	徳島東部 1
工期	
積算体系年月	平成 3 1 年 1 2 月
単価期適用年月	平成 3 1 年 1 2 月一 A
歩掛期適用年番号	
電力会社名	

















事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型) 大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
	実施設計 排水路		式		1.000 式	当たり算出
	実施設計 排水路 難易度補正 I, 470m, しない, Q<10m3/s			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計内容	難易度補正 I				
	2)設計対象延長	470m				
	3)複合設計区分	しない				
	4)流量区分	Q<10m3/s				
	5)1. 現地調査	計上する				
	6)2. 資料の検討	計上する				
	7)3-1. 設計計画基本条件の検討	計上する				
	8)3-2. 設計計画排水路タイプ・断面検討	計上する				
	9)4-1. 水理検討水理計算	計上する				
	10)4-2. 水理検討水理縦断面作成	計上しない				
	11)5. 構造計算	計上する				
	12)6. 構造図作成	計上する				
	13)7. 附帯構造物	計上する				
	14)8. 平面縦断面図作成	計上する				
	15)9. 土工図作成	計上する				
	16)10. 数量計算	計上する				
	17)11. 施工計画	計上する				
	18)12. 特別仕様書作成	計上しない				
	19)13. 概算工事費積算	計上しない				
	20)14. 総合検討	計上しない				
	21)15. 照査	計上する				
	22)16. 点検取りまとめ	計上する				
	23)1個別補正現地調査					
	24)2個別補正資料の検討					
	25)3-1個別補正基本条件の検討					
	26)3-2個別補正タイプ・断面形状検討					
	27)4-1個別補正水理計算					
	28)4-2個別補正水理縦断面作成					
	29)5個別補正構造計算					
	30)6個別補正構造図作成					

事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型) 大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	31) 7個別補正附帯構造物					
	32) 8個別補正平面縦断図作成					
	33) 9個別補正土工図作成					
	34) 10個別補正数量計算					
	35) 11個別補正施工計画					
	36) 12個別補正特別仕様書作成					
	37) 13個別補正概算工事費積算					
	38) 14個別補正総合検討					
	39) 15個別補正照査					
	40) 16個別補正点検取りまとめ					
	主任技師 内業		人			
	技師 (A) 内業		人			
	技師 (B) 内業		人			
	技師 (C) 内業		人			
	技術員 内業		人			
	合計					算出数量 1.000 式
	単価		式			
	*** S単- 2号 ***					
	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, , , , , ,			基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種				
	2) 打合せ					
	3) 設計用主任技師人数					
	4) 設計用技師(A)人数					

事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型) 大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5)設計用技師(B)人数					
	6)設計用技師(C)人数					
	7)打合せ日数					
	8)往復移動日数					
	主任技師		人			
	技師 (A)		人			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			
	*** S単- 3号 ***					
	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,,,,,,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ					
	3)設計用主任技師人数					
	4)設計用技師(A)人数					
	5)設計用技師(B)人数					
	6)設計用技師(C)人数					
	7)打合せ日数					
	8)往復移動日数					
	技師 (A)		人			
	技師 (B)		人			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			

事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型) 大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 4号 ***					
	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,, 通勤により打合せ,, ライトバン,, 1時間, L<100km (100km未満)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種				
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員					
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員					
	7)打合せ日数 8)往復移動日数					
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金 (税別) 14)鉄道往復1人当料金 (税別)					
	15)バス往復1人当料金 (税別) 16)船舶往復1人当料金 (税別)					
	17)航空往復1人当料金 (税別) 18)ライトバン使用日数					
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	1時間 L<100km (100km未満)				
	ライトバン[二輪駆動]		日			<損料>
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.600	L			
	合 計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			

事業名	農山漁村地域整備交付金 農地整備事業 (経営体育成型) 大幸地区
業務名	R 1 徳耕 経営体 大幸 1号3号4号排水路設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 5号 ***					
	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,, 通勤により打合せ,,, ライトバン,,, 1時間, L<100km (100km未満)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種				
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員					
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員					
	7)打合せ日数 8)往復移動日数					
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金 (税別) 14)鉄道往復1人当料金 (税別) 15)バス往復1人当料金 (税別) 16)船舶往復1人当料金 (税別) 17)航空往復1人当料金 (税別) 18)ライトバン使用日数					
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	1時間 L<100km (100km未満)				
	ライトバン[二輪駆動]		日			<損料>
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.600	L			
	合 計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			



【排水路設計作業項目内訳表】 《実施設計》		
作業項目	作業内容	作業項目
1 現地調査	実施設計に必要な調査を行う。 (補足説明) 路線計画設計(実施)時及び基本設計時に実施した現地調査結果の確認を行う。	○
2 資料の検討	実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。	○
3 設計計画	詳細実測資料に基づき水理構造条件を決定する。	○
3-1 基本条件の検討	(補足説明) 貸与資料、現地調査等から指示する基本条件を 1/500 地形図(実測図)で検討し決定する。	
3-2 排水路タイプ及び断面形状の検討	水路タイプ及び実施断面の詳細を決定する。 (補足説明) 路線計画設計(実施)で決定する路線の排水路形式について、現地調査結果及び 1/500 地形図(実測図)から水路タイプ(擁壁形護岸、ライニング形護岸、無ライニング形等)及び断面形(矩形、台形の場合は柵工形等)を検討して決定する。なお、全体計画路線における排水位高により水路タイプに対応する断面形を決定する。	○
4 水理検討		○
4-1 水理計算	実施断面により各種損失水頭の計算及び実施断面の水理計算を行う。 (補足説明) 前項で決定する実施断面による必要な損失水頭を計算により求め、実施断面に対する粗度係数及び路線計画設計で決定する勾配等から Manning 公式により水理計算を行って断面形の適否を検討する。排水路の流れが不等流の場合は排水計算を行うものとする。	
4-2 水理縦断面図作成	詳細な水理縦断面図を作成する。 (補足説明) 水理計算結果に基づいた設計水位、水路底標高の縦断面図を作成する。(1/500)	—
5 構造計算	各実施断面についての詳細な構造計算を行う。 (補足説明) 実施断面形の変化及び荷重の変化に対応する断面を対象に構造計算(安定計算、応力計算)を行う。	○
6 構造図作成	全断面の構造一般図及び構造配筋図、鉄筋加工図、バレル割図、ドレーン等詳細図を作成する。 (補足説明) 詳細図とは、施工上必要な基礎工及び箱抜等を記入する図面を言う。	○
7 附帯構造物	各構造物の詳細計算及び工法を決定する。 (補足説明) 路線計画設計(実施)で決定する各附帯施設について水理計算又は構造計算を実施して形式、寸法及び構造を決定するとともに施工法について検討して決定する。	○
8 平面縦断面図作成	平面縦断面図に全タイプの位置及び断面の表示、タイプ区分、安全施設、管理施設等を記入する。 (補足説明) 縮尺の標準は、縦 1/100, 横 1/500 とし測点間隔は 50m 又は 100m とする。	○
9 土工図作成	土工横断面図、施工法区分(単価区分)毎の切盛土量、法面保護工長等を記入する。 (補足説明) 流用土、搬出土(捨土)、搬入土(購入土)等が算定できる図面を作成する。	○
10 数量計算	工区毎、施工法区分毎、タイプ毎のコンクリート、附帯工材料、仮設工材料等の詳細な数量計算を行う。 (補足説明) 数量計算運用規定に基づいて、数量計算を行う。	○
11 施工計画	土工計画、仮設備その他施工順序、方法、工程計画を作成する。 (補足説明) 施工基本方針の検討、土木計画、コンクリート打設計画、工事用道路計画、仮排水計画、仮土留計画、全体工程計画等を作成する。	○
12 特記仕様書作成	工事实施に必要な特記仕様書を作成する。 (補足説明) 既施工地区における特記仕様書を参考に本業務について、工事实施のための必要な特記仕様書を作成する。	—
13 概算工事費積算	各工種の単価を作成し、概算工事費を算定する。	—
14 総合検討	前項までの作業について総合的に検討し、工事实施のための点検を行う。 (補足説明) 前項までの作業について総合的に検討し、工事实施に当たり必要なコメントを付記する。	—
15 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○
16 点検とりまとめ	成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	○